

個人情報漏えいに関するお詫びとご報告

この度、当センターにおきまして、下記の個人情報漏えい事案が発生しました。関係する皆さまにおかれましては、多大なるご迷惑とご心配をお掛けする事態になりましたことを心よりお詫び申し上げます。

今回の事態を重く受け止め、個人情報の管理につきましては、職員に対する教育及び指導を徹底し、再発防止に努めてまいります。

記

1 事案の概要

担当看護師が他院に転院する患者A氏に対し、封筒に入れた退院証明書をお渡ししました。患者A氏が転院先の病院へ当該封筒を提出したところ、誤って患者B氏の退院証明書が封入されていたことが判明し、転院先の病院から連絡をいただいたことにより、個人情報漏えいが発覚しました。

直ちに転院先の病院に伺い、患者B氏の退院証明書を回収しました。また、漏えい先の方々に対して、知り得た個人情報を口外しないことをお願いして了承をいただいております。二次被害の可能性は低いものと考えております。

2 漏えいした個人情報

退院証明書に記載された患者に係る情報（氏名、住所、生年月日、年齢、性別、入院期間、入院基本料等の種別、当該保険医療機関退院日における通算対象入院料を算定した期間、入院に係る傷病名、転帰、その他特記事項内容として転院前に入院していた他医療機関に係る情報（医療機関名、入院期間、入院基本料の種別、転院時の傷病名、転記等）

3 発生原因

事務員から患者A氏と患者B氏の退院証明書が同時に病棟の看護師に渡されましたが、担当看護師はすべての書類の患者氏名等を確認することを怠り、患者B氏の退院証明書を患者A氏のものと思い込み、患者A氏の転院先の病院に渡す予定の封筒に入れてしまいました。また、封緘する際にも内容物の確認をしなかったため、誤封入に気付くことができませんでした。

4 再発防止策

- ① 担当看護師は病棟で受け取った書類について、1枚ずつすべての書類の患者氏名等の確認を行うことを徹底し、書類を入れる封筒にも患者氏名を記入することとしました。
- ② また、看護師2名で書類の患者氏名等の記載内容を確認し、封筒の患者氏名と突合します。
- ③ さらに、封筒を患者に渡す際、患者又は患者家族と内容物を確認した後、封緘して渡すことを徹底します。